

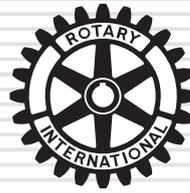


GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2015-2016



Rotary

District 2680



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

ロータリーの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

- 1) 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
- 2) 取引の全てにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
- 3) 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
- 4) ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。



ガバナーズレター.....	1
A Talking Knowledge of Rotary.....	3
コーディネーターニュース3月号.....	4
文庫通信(341号).....	4
地区行事報告.....	5
地区委員会報告.....	7
ご入会おめでとうございます.....	8
ご協力に感謝します.....	8
3月地区活動予定.....	9
3月12日地区大会 多様化イベント開催.....	9
訃報.....	9
出席報告	

本年度の表紙

川西英画伯の「兵庫百景」は昭和37年1月から毎日曜日の神戸新聞夕刊紙上に多色刷りとして一景ずつ100回連載されました。本年度は、この「兵庫百景」より兵庫県を代表する景色を抜粋掲載させていただきたいと思います。なお、MEMOは「兵庫百景」より引用させていただき、旧呼称は現呼称をカッコ内に付記いたしました。

❖今月の表紙 白鷺城

MEMO

国鉄(JR)姫路駅から北1キロ。元弘三年(1333年)赤松則村が城塞を築いたのが始まり。天正九年豊臣秀吉が三層の天守閣を築き、慶長14年(1609年)池田輝政が現在の城を完成した。昭和31年5月解体復元工事に着手、同39年6月に完成した。

「ワールドクラス」 ロータリークラブの 会長 幹事の皆様



国際ロータリー第2680地区
ガバナー 丸尾 研一 (神戸西神)

いよいよ今月は地区大会が開催されます。地区大会はロータリアンにとって年間の最大のイベントであり、地区内のロータリアンが、一堂に会し、友情を育み、共に勉強する場であります。

特に今年度は土曜日の午前中からプログラムがありますので、どうぞ2日間たっぷりロータリーを楽しんでください。

3月は「水と衛生」月間です。

ロータリーは、安全な飲み水と基本的な衛生設備を提供するための活動と研修を支援します。

この重点分野の目的と目標

ロータリー財団は、ロータリアンが以下のような形で、人々が水と衛生設備を持続的に利用できるような活動を支援します。

1. 地域社会における安全な水の公平な提供、衛生設備や衛生状況の改善。
2. 持続可能な水設備と衛生設備の設置、資金調達、維持管理を地域社会が自ら行っていくための能力向上。

3. 安全な水と衛生の重要性について、地域社会の人々の認識を高めるためのプログラム支援。
4. 水と衛生に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための奨学金支援。

受領資格の判断基準

ロータリー財団は、以下を目標として掲げる活動を、重点分野「水と衛生」の範囲内にある活動とみなします。

1. 安全な飲み水の利用（例：水の供給および水質の改善）
2. 衛生設備の改善
3. 衛生環境・衛生習慣の改善
4. 持続可能性を高めるための地域社会の開発や、地域社会による水・衛生設備の管理
5. 水源管理プラン、および適切な水供給を必要とする食糧の安全プラン
6. 生産用の水（例：作物、家畜など）
7. 上記の活動を支援する職業研修チーム（VTT）
8. 水と衛生に関連する大学院課程で学ぶための奨学金

子どもたちが生きていく上で、水と衛生は大きな問題です。汚水や不衛生な環境は、感染症を引き起こします。幼い子どもたちのなかには、下痢などで命を落としてしまうことも少なくありません。

統計によりますと、2015年時点、世界では、6億6300万人が、改善された水源を利用できていなく、24億人が、改善された衛生設備を使用できていません。水と衛生は人の生命と生活に関わる重要な問題です。

10年前のデータですが、年間約180万人の子どもが下痢のために死亡しています。これを1日当たりにするると、約5000人の子どもが死亡していることとなります。これは世界で2番目に多い子どもの死因であり、水関連の病気により多くの子どもたちの授業の日が失われ、何百万もの女性が水汲みに毎日数時間を費やしています。

随分昔の話になりますが、私が生まれ育った所では、各家々に井戸があり、農業用水は別にして、水に困ったことはなく、夏は戸を開けっ放しで寝ており、「水と安全」にコストがかかるという意識すらなく生活をしていました。

世界で水問題、衛生問題があることは知っていましたが、深刻に考えるようになったのは随分と年齢を重ねてからのような気がします。勿論今は、どうすればいいのか、どう解決策があるのか、自分にできることはあるのか、自分に何ができるのか、深刻に考えています。

現在日本ではペットボトルの水が売れ、特に体に良いものが売れています。（我が家でも飲料水はペットボトルです。）世界から日本をみると、かなりの贅沢です。ペットボトルの水はガソリンより高いのです。（もと油やさんのつぶやきです。）

衛生問題からは離れますが、水問題として、再生可能エネルギーの話を書きます。

温室効果ガス、気候変動、地球温暖化、様々な問題がありますが、日本のエネルギー自給率は6%程度にすぎないのです。

石油や天然ガスといった調達を輸入に頼らざるを得ない資源貧国である日本にあって、水資源があるかぎり稼働を続けることができる水力発電は、極めて貴重な純国産の再生エネルギーです。

化石燃料は使ったらなくなります。太陽光発電は昼間だけです。風力発電は風が吹いているときだけです。

しかし、それに比べて水は半永久的に使える循環型エネルギーです。つまり、水力発電は安定しているのです。

日本の技術をいかして、小水力発電が、益々発展することを期待して、この稿を閉じます。

A Talking Knowledge of Rotary

地区研修リーダー **三木 明** (姫路)

1905年2月23日、ポール・ハリスが3人の仲間に呼びかけて作った小さな集まりは、111年経った今日、200以上の国と地域に広がり、3万4千のクラブ、120万人を超える会員を擁する巨大な組織に育ちました。

1905年当時、800万人ともいわれるヨーロッパからの移民が、安い労働力を求めたアメリカの企業を支えていたのです。資本主義の嵐が吹き荒れていたシカゴの街の経済状況は悪く、人々の心はすさんでいました。この殺伐としたシカゴの街で、ポールは、心から信じあえる友を求めていたのです。

原始ロータリーは、弱小実業人および専門職業人が、お互いに肩を寄せあって生きていこうという、助け合い運動でした。ロータリアン達だけが仲良くなってお互いに助け合う、まさに親睦と相互扶助だけの世界でした。

後年、ポール・ハリスが、フィリピンのマニラで開催された第3回太平洋地域会議に出席する途中、日本に立ち寄った際『あなたは何故ロータリークラブを作ったのですか』と聞かれたのに対して、『格別の意味があったわけではないんだ。ただ、寂しかったからなんだよ』と答えたのです。

ポール・ハリスたちは、『世のため人のため』という考え方はなく、職業人の寂しさ、心の渇きを癒すためにロータリークラブを作ったに過ぎなかったのです。

ロータリーの本質は、「お互いに自分を磨き合う」という教育的機能がロータリー運動の本体で、「切磋琢磨」がロータリー運動の本体なのです。つまり、ロータリアンが、クラブの中でお互いに切磋琢磨することにより磨かれていくのです。

ロータリーの奉仕は、まずロータリアン自身がロータリーの中で人を作る。自らが自己研鑽、切磋琢磨によって人格を磨き、自分を高める。そして、ロータリアン以外の人々にこの人格の功德を施し、その人達の人格を高める。これがロータリーの奉仕の本体なのです。

この素晴らしい精神を110年以上の間、先人から受け継いできた私達に当地区のバスターガバナーである齋木亀治郎翁が、次のような物語を話してくださいました。

私が子供だった頃、私の家は山の麓の小さな村にありました。私の家では提灯や蠟燭を売っていました。

ある晩のこと、ひとりの牛飼いが私の家で提灯と蠟燭を買いました。

『坊や、すまないが蠟燭に火をともしてくれないか。』と言いました。

私はそれまでマッチをすった事はありませんでした。そこでおっかなびっくり、マッチ棒の端のほうを持ってすりました。すると棒の先に青い火がともりました。

私はその火を蠟燭に移してあげました。

『ありがとう。』と言って牛飼いは灯のともった提灯を牛の横腹のところに吊るして行ってしまいました。

私はひとりになってから考えました。

私の点してあげた灯はどこまで行くのだろう。牛飼いは山の向こうの人だから、あの灯も山を越えて行くのだろう。

山の中であの牛飼いは別の村に行くもう一人の旅人に行き遭うかもしれない。

するとその旅人は『すみませんがその灯をちょっと貸して下さい。』と言って牛飼いの灯を借りて自分の提灯に移すだろう。

そしてこの旅人は夜っぴて山路を歩いてゆくだろう。

するとこの旅人は太鼓や鉦を持った大勢の人々に会うかも知れない。

その人達は『私達の村の一人の子供が狐にばかされて村に帰ってきません。それで私達は探しているのです。すみませんがちょっと提灯の灯を貸して下さい。』と言って旅人から火を借り、皆の提灯につけるだろう。

そして、この人達は鉦や太鼓を鳴らして山や谷を探してゆくだろう。

私は今でも、あの時私が牛飼いの提灯に点してあげた灯が次から次へ移されて、どこかで灯っているのではないかと思います。

(齋木亀治郎翁 著書「あほうどり つぶやく」より抜粋
尼崎で開催されたRI第368地区・地区大会で、ガバナーノミニの講演として。)

先人から引き継いだ心の中に点る火を、次の世代に託していくことがロータリーの大切な心なのです。

公共イメージについて考える

第1ゾーンロータリー公共イメージコーディネーター補佐 (ARPIC) 鈴木秀憲 (吹上)

ロータリーは、毎年行われるリーダー交代による継続性確保の課題を認識し、一方で変化が激しく、予測が極めて困難な環境を考慮し、長期計画を組織運営の為に具体的な計画として位置づけ、2007年6月、RI理事会が2007-10年度の国際ロータリーの長期計画を承認しました。これにはロータリーの使命、ビジョン、優先項目、目標として提案された内容が検討され、7つの優先項目とロータリーの基本的信条を表す5つの中核的価値観も含まれました。

3年後の2010年に見直しが行われ、整理され、現在と同じ3つの優先項目になりました。(2011年11月に、Strategicの日本語訳が「長期計画」から「戦略計画」になりました。)

これが、更に3年後の2013年に再度見直され、引き続き「現在の内容」になっています。

その優先項目の一つ「公共イメージと認知度の向上」について考えてみましょう。

この項目について考えると、1つは「ロータリーが行っていることを世間にご理解頂く為に周知する事。」つまり「どのように世間へお伝えするのか?」という事=方法論ですが、私は「世間へお伝えすべき事項は何か?」という事つまり内容論を真っ先に考えます。

そして大切な事は「世間が必要としていることを行えば、結果として『ロータリーの公共イメージ』がアップする。」と考えます。世間があまり必要としていない事を行っても、ロータリーの公共イメージは向上しないで、「マスターベーションを行っている」と受け取られかねないと考えます。マスターベーションという表現は酷いとしても、「公共イメージの向上」には繋がらないと思います。

それともう一つ、同じ地域に複数のクラブがあり、夫々が異なる奉仕活動を行っている、世間の方からは、やはり「ロータリーって何をやっているかよく解らない。」と思われまます。

従って「奉仕活動をどのように行うか?」が、肝心です。つまり何が公共の為になるかです。

この事を、クラブで(場合によったら同一地域の他のクラブも含め合同で)、或は地区で議論して、公共の為(公益)の事業を試みる必要があります。

又、当初は意義があった奉仕活動でも、年月を経ると意義や意味が薄れることもあります。奉仕活動の見直しつまり「スクラップ&ビルド」も考える必要もあります。新しいジャンルの奉仕活動を行う事によって、新たな観点からの会員勧誘につなげる事も出来ます。

更に地区補助金を活用して公益事業を行い、同時にこの事を世間へ広報したら如何でしょうか? 公益性の強い奉仕事業であれば有るほど、黙っていても世間で周知され、公共イメージや認知度は向上することでしょう。

文庫通信(341号)

最近のロータリー資料から

- ◎ 「『会員増強』は誰のため?」 野中 玄雄 2015 2p (D.2730月信)
- ◎ 「会員増強および拡大月間に寄せて」 貞方 正一 2015 2p (D.2740月信)
- ◎ 「会員増強・拡大特別月間特集」 2015 5p (D.2820月信)
- ◎ 「会員増強ドリームプランの実践」 野上 征利 2015 6p (第43回ロータリー研究会報告書)
- ◎ 「韓国の会員増強と維持について」 SangKoo Yun 2015 3p (第43回ロータリー研究会報告書)
- ◎ 「会員を引き込む」 2015 2p (D.2570会員増強セミナー資料)
- ◎ 「サクセス・ジャパン大作戦 10万人会員を目指して」 松宮 剛・北 清治・辰野 克彦 2015 2p (D.2570会員増強セミナー資料)
- ◎ 「会員は何故減少するのか。会員増強に妙手はあるのか。どうあるべきか 今後のロータリー」 久野 薫 2015 20p (新ロータリーを語ろう)

[上記申込先: ロータリー文庫]

◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ロータリー文庫 ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館: 午前10時~午後5時 休館: 土日祝日

◆第18回「発達障害理解のための基礎と実践講座」

1月23日(土)◆神戸芸術センター
教育問題小委員会委員 **山口 宰** (神戸西)

1月23日(土)、神戸芸術センター(神戸市中央区)にて、第18回「発達障害理解のための基礎と実践講座」を、主催:RI2680地区社会奉仕委員会、主管:神戸西RC、協力:宝塚武庫川RC・神戸ベイRCで開催いたしました。

第1部では、大阪教育大学名誉教授で、発達障害に関する研究の第一人者である竹田契一先生(宝塚武庫川RC)に「発達障害のある児童生徒への合理的配慮とは」と題して、これから教育・福祉現場で求められる「合理的配慮」についてご講演いただきました。

第2部では、大阪医科大学小児科の金泰子先生をお迎えし、「思春期発達障害の心のケア」というテーマで、現場での数多くの貴重な経験談を交えながら、大変わかりやすくお話しいただきました。

兵庫県・兵庫県教育委員会・神戸市・神戸市教育委員会の後援のもと、教育関係者・福祉関係者・発達障害の当事者や家族・ロータリアンなど、過去最多の1,200名を超える方々にお越しいただき、地域のリアルタイムなニーズに応える大変有意義なプログラムとなりました。皆様のご協力に感謝申し上げます。



◆ローターアクト・青少年交流会

2月7日(日)◆明石市生涯学習センター
地区RA代表 花岡 意佐夫

2月7日、明石市生涯学習センターに於いて、ローターアクト主催による「青少年交流会」が開催されました。

7つのインターアクトクラブと、青少年交換学友、RYLA学友そしてローターアクト総勢70名を超えるイベントになりました。

プログラムは無言語コミュニケーション・回転トークを行い、知恵を絞るマシュマロチャレンジを行いました。

この交流会で、青少年関連のグループが一つに繋がりが、人脈が広がることによって、自分の可能性をも広げるものになったのではないのでしょうか？

2680地区が近年力を入れている「クロスプロモーション」。その輪は確実に大きくなっています。この輪は必ずや「和」をもたらすものになると思います。

参加者並びに、ご多用の中ご参加いただきましたロータリアンの皆様、このような素敵な時間を作って頂いたホストクラブの淡路ローターアクトクラブの皆様、ありがとうございました。



第4回危機管理委員会

1月22日(金)◆センタープラザ西館6階4号室

危機管理委員会委員長 黒田 建一(西宮夙川)

標記委員会は、丸尾研一ガバナー、瀧川好庸ノミニー外ロータリアン委員16名、外部委員3名合計19名の出席を得て開催されました。本年2月11日に開催予定の地区危機管理セミナーを控え、当日プログラムの最終確認と担当者間の調整を行いました。今回のセミナーは、従来関心が薄かったと思われるクラブ事業に関する危機管理の必要性を問うものであり、具体的な事例を基に解説を試みることにしています。その為の手法について、坂東隆弘委員がパワーポイントを作成し、より理解し易くなる見込みが立ちました。危機管理セミナーは当地では初めての試みですが、危機管理問題の認識が不可避であることを各クラブは理解して頂ければと思っています。

第1回教育問題小委員会

1月23日(土)◆ANAクラウンプラザホテル 新神戸クラブさくらの間

教育問題小委員会委員長 山口 元(神戸ベイ)

第18回発達障害講演会に引き続き開催されました。

1. 第18回発達障害講演会評価

過去最大の1200名を超える参加者があり、会場の定員を超えたが入場制限はしなかった。会場内の立ち見とロビーのスピーカーで対応した。金先生の医療・教育現場の生の声をもっと聴きたいとの要望が多数あった。

2. 次年度(第19回)発達障害講演会(案)について

日時 2017年1月21日(土)13時30分~16時30分

会場 神戸芸術センター 大ホール

講師 竹田契一委員 金泰子先生

内容 第18回のパート2を実施

3. 地区各クラブの発達障害講演会実施状況

全て竹田契一委員が講演、山口小委員長が地区主催第18回講演会のチラシを持参しPRした。

以降の各クラブの講演会には第19回講演会のPRをしていく。

引き続き委員会で竹田契一委員のサポートをする。

第3回地区史編纂委員会

1月28日(木)◆ガバナー事務所会議室

地区史編纂委員会委員長 柴田 整宏(西宮夙川)

サンディエゴでの国際協議会を無事終了し、帰国された室津ガバナーエレクトも参加していただいたので、地区チーム研修セミナーおよびPETSにおいて、地区内の13委員会の大委員長、および各クラブの次期会長に、石井年度から室津年度にわたる12年間の記録、各クラブの紹介を、室津年度の前半までにしていただくことに決定いたしました。

前回出版された地区史は、西宮クラブの故市居嘉雄氏が主になってまとめられた素晴らしいものです。その形式を続けていきたいと考えています。

第3回多様化小委員会

2月3日(水)◆ガバナー事務所会議室

多様化小委員会委員長 梅原 可奈子(西宮夙川)

第3回多様化小委員会が、地区大会1日目に開催する多様化イベントのパネルディスカッション「ロータリーの多様性を考える」のパネリストの方々にもご出席頂き、ガバナー事務所会議室にて行われた。多様化イベントで使用予定のトータライザー(賛否集計機)の機器操作、及びクリッカーについての説明を受けた後、イベントの出席者、次第、役割分担、注意事項についての協議を行った。なお、基調講話タイトル、事前配布資料についても検討がなされ、トータライザーを利用する設問については、今後、委員会出席者からの意見を集約していく。ロータリー紹介リーフレットについては、概ね原案通りとして最終案を確認後、作製に入ることになった。

ご入会おめでとうございます(敬称略・クラブ順)

尼崎東



田野島孝道
仏教
1/20入会

明石南



藤岡 真也
信用金庫
7/2入会

加古川中央



兼松 和功
バス事業
1/7入会

姫路南



市橋 清弘
警備保障
1/25入会



梅本 伸昌
運動具製造
1/25入会

豊岡



遠藤 剛
耳鼻咽喉科
1/15入会

ご協力に感謝します(敬称略・クラブ順)

ポールハリス・ソサエティ



石井 良昌
(尼崎西)



小出紀久男
(尼崎西)



中尾 信彦
(尼崎西)



徳永順一郎
(川西)



秋山 榮
(神戸)



濱 浩一
(神戸)

マルチプル・ポールハリス・フェロー

マルチプル・ポールハリス・フェロー



鍛冶川清司
(神戸)



奈良山貴士
(神戸)



村尾憲一郎
(神戸)



川村 太二
(尼崎西)



北川 則行
(尼崎西)



野村 英雄
(尼崎西)

ポールハリス・フェロー

ポールハリス・フェロー



小林 俊康
(川西)



工藤 洋
(神戸)



浅井 光昭
(神戸)



保地 富夫
(加古川)



森 隆志
(加古川)



前田 盛
(神戸)

米山功労者(9回)

米山功労者(4回)

米山功労者(3回)

米山功労者(3回)

米山功労者(2回)

米山功労者(1回)



橘 重孝
(加古川)



新 尚一
(神戸)



奈良山貴士
(神戸)



池永 明義
(伊丹有明)



大久保裕晴
(神戸)



小曾根佳生
(神戸)

米山功労者(1回)



中本広太郎
(神戸)



坂田 和夫
(神戸北)



田辺 誠
(加古川)



九鬼 克俊
(加古川)



大山 重勝
(加古川)

3 月 地 区 活 動 予 定

日	時	行 事 名	場 所
2日(水)	16:00~	第8回世界社会奉仕小委員会	ガバナー事務所会議室
5日(土)	14:00~	東播第3GIM	小野市うるおい交流館 エクラ
6日(日)	14:00~	第6回米山奨学委員会	第一楼
	16:00~	2015学年度米山記念奨学生歓送会	第一楼
12日(土)~13日(日)		地区大会	神戸ポートピアホテル
16日(水)	15:00~	第7回地域問題小委員会(現・次期合同)	西村屋 和味旬彩 4F 会議室
18日(金)	15:00~	第28回全国ローターアクト研修会並びに 第13回アジア太平洋地域ローターアクト 会議(APPRC)	グランドプリンスホテル京都
19日(土)	9:00~		国立京都国際会館
20日(日・祝)	8:00~	第5回戦略計画委員会	観光ツアー・奉仕活動(第2650地区内)
21日(月・振)	9:00~		国立京都国際会館
23日(水)	17:00~	第8回規定審議委員会	ガバナー事務所会議室
27日(日)	AM	2016年地区研修・協議会リーダー会議	神戸ポートピアホテル
	PM	2016年会長エレクト研修セミナー(PETS)	神戸ポートピアホテル
30日(水)	17:00~	第5回戦略計画委員会	ガバナー事務所会議室
31日(木)	16:00~	第4回地区史編纂委員会	ガバナー事務所会議室

多様化イベント開催

日 時：2016年3月12日(土) 10:00~
場 所：神戸ポートピアホテル

基調講話：「多様性あれこれ」
研修委員長 三木 明(姫路)

パネルディスカッション：
「ロータリーの多様性を考える」
コーディネーター 三木 明(姫路)
パネリスト 滝澤 功治(神戸須磨)
瀧川 好庸(神戸西)
安行 英文(三田)
大澤 直子(上郡佐用)
福山 太一(HYOGO REC)

訃報



故 木津 正敏 氏(神戸西)
7月1日 享年86歳



故 岡本 信洋 氏(篠山)
12月30日 享年71歳



故 森本 啓久 氏(神戸)
1月16日 享年59歳

国際ロータリー第2680地区 2016年1月出席報告

	クラブ名	例会数	平均出席率 %	会員数				東 播 第 一 4	クラブ名	例会数	平均出席率 %	会員数			
				2015年 7月1日	当月末	増減	女性					2015年 7月1日	当月末	増減	女性
尼 崎 6	尼 崎	3	81.08	34	37	3	1	東 播 第 二 5	明 石	4	78.39	49	46	-3	0
	尼 崎 北	4	97.62	40	42	2	0		明 石 西	4	99.27	41	40	-1	1
	尼 崎 東	4	98.79	43	44	1	0		明 石 北	3	92.97	44	47	3	0
	尼 崎 西	3	98.24	37	38	1	2		明 石 南	4	96.59	24	24	0	0
	尼 崎 南	4	95.64	33	34	1	4		小 計		73.44	158	157	-1	1
	尼 崎 中	4	91.30	23	23	0	1		高 砂	4	98.64	42	41	-1	3
	小 計		93.78	210	218	8	8		加 古 川	4	85.28	75	75	0	0
阪 神 第 一 5	伊 丹	4	83.52	42	44	2	0	東 播 第 三 5	加古川中央	4	86.26	55	56	1	0
	川 西	4	95.29	34	34	0	5		高砂青松	3	96.55	45	45	0	2
	伊丹有明	4	85.87	28	27	-1	0		加古川平成	3	87.37	14	15	1	1
	川西猪名川	3	94.63	23	22	-1	3		小 計		90.82	231	232	1	6
	伊丹昆陽池	4	93.64	18	17	-1	0		三 木	4	97.36	55	55	0	0
小 計		90.59	145	144	-1	8	小野加東	4	97.50	39	42	3	1		
阪 神 第 二 6	西 宮	4	100.00	54	54	0	0	淡 路 5	北 条	3	97.00	37	39	2	2
	芦 屋	4	81.19	48	49	1	0		西 脇	3	99.22	45	45	0	2
	甲 子 園	4	88.29	40	41	1	2		三木みどり	3	96.77	33	31	-2	0
	西宮夙川	4	94.03	41	39	-2	5		小 計		97.57	209	212	3	5
	芦屋川	2	77.78	28	27	-1	1		洲 本	4	92.58	36	38	2	1
	西宮恵美寿	4	89.00	25	25	0	6		南 淡 路	4	91.66	26	27	1	4
小 計		88.38	236	235	-1	14	淡路三原	4	98.69	19	21	2	0		
阪 神 第 三 8	宝 塚	2	91.31	22	23	1	2	西 播 第 一 6	津 名	3	94.59	36	37	1	0
	三 田	3	94.83	21	20	-1	0		あわじ中央	3	100.00	18	20	2	0
	篠 山	4	100.00	46	45	-1	0		小 計		95.50	135	143	8	5
	柏 原	4	89.49	49	48	-1	0		姫 路	3	94.40	83	90	7	0
	宝塚武庫川	3	90.91	33	35	2	0		姫 路 南	3	97.15	81	81	0	0
	三 田 南	4	100.00	7	7	0	0		姫 路 西	4	80.44	73	75	2	2
	宝 塚 中	3	91.66	33	34	1	9		姫 路 東	3	100.00	75	72	-3	2
	HYOGOロータリー Eクラブ	3	100.00	21	23	2	5		神 崎	4	86.90	31	29	-2	0
小 計		94.78	232	235	3	16	姫路中央	3	100.00	5	5	0	0		
神 戸 第 一 7	神 戸	4	86.83	155	156	1	0	西 播 第 二 4	小 計		93.15	348	352	4	4
	神 戸 東	4	82.30	109	110	1	0		赤 穂	4	93.70	41	40	-1	0
	神 戸 東 灘	3	92.46	32	33	1	3		相 生	4	100.00	39	41	2	2
	神 戸 有 馬	3	95.83	10	9	-1	0		龍 野	3	94.49	49	51	2	4
	神 戸 南	2	84.23	82	78	-4	0		上郡佐用	4	100.00	24	24	0	7
	神 戸 六 甲	4	78.33	15	15	0	0		小 計		97.05	153	156	3	13
	神 戸 ベイ	3	95.00	22	22	0	3		但 馬	4	97.79	34	36	2	1
小 計		87.85	425	423	-2	6	生 野	4	80.68	21	22	1	0		
神 戸 第 二 7	神 戸 西	4	90.96	56	56	0	5	但 馬 5	香 住	4	94.00	18	16	-2	0
	神 戸 須 磨	4	95.69	34	34	0	0		豊岡円山川	4	91.67	18	21	3	0
	神 戸 北	4	85.23	29	26	-3	2		和 田 山	4	82.95	22	22	0	1
	神 戸 垂 水	3	92.60	31	31	0	5		小 計		89.42	113	117	4	2
	神 戸 ハーバー	4	94.70	12	12	0	0		73RC		91.10	2,833	2,861	28	105
	神 戸 西 神	4	96.50	36	39	3	2								
	神 戸 中	3	88.03	40	39	-1	3								
小 計		91.96	238	237	-1	17									

◆クラブ数…………… 73RC
 ◆2015年7月1日 クラブ会員数……2,833人
 ◆2016年1月末 クラブ会員数……2,861人

◆2016年1月末女性会員数…………… 105人
 ◆2016年1月平均出席率……………91.10%
 ◆増 減…………… 28人増